

立川市旧清掃工場解体工事 土壤汚染調査結果について

解体工事に先立ち実施した土壤汚染調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

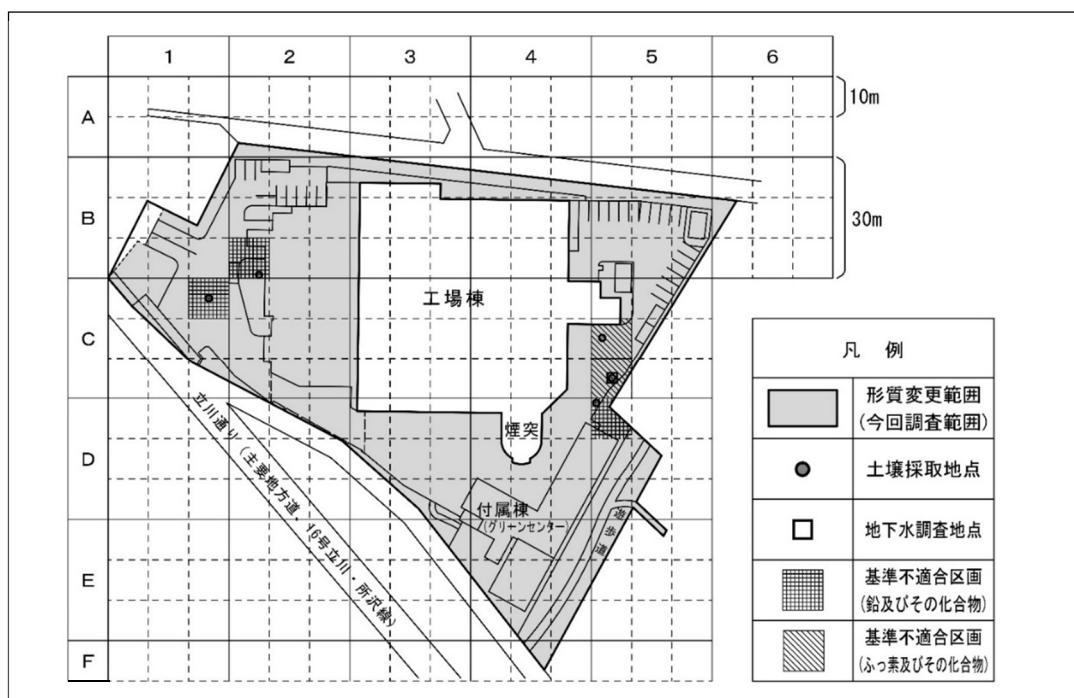
1 土壤汚染調査結果について

約70か所でサンプルを採取し、分析を行った結果、5地点において土壤含有量や土壤溶出量に基準不適合が認められました。

当該結果を東京都多摩環境事務所へ報告済みであり、掘削等土地の形質変更時まではリスク管理を継続いたします。

また、地下水から特定有害物質の基準超過は認められないと、近隣への影響はありません。

(1) 調査地点



(2) 調査結果

土壤汚染物質	基準値		検出値(最大値)
鉛及び その化合物	含有量	150mg/kg	230 mg/kg(基準値の約1.5倍)
			深度: GL - 2.0m
ふつ素及び その化合物	溶出量	0.8mg/ℓ	2.2mg/ℓ(基準値の約2.8倍)
			深度: GL - 3.0m

※鉛の土壤含有量基準は、土壤汚染が存在する土地に生涯(70年間)居住し、1日に100mg(子ども:6歳以下は1日に200mg)の土壤を口にし続けても、健康に影響を及ぼさないように定められた基準です。

※ふつ素の土壤溶出量基準は、生涯(70年間)1日に2ℓの地下水等を飲み続けても、健康に影響を及ぼさないように定められた基準です。

(3) 今後の予定

工場棟下部及び犬猫慰靈碑跡地下部につきましては、工事の進捗により土壤汚染調査を実施します。結果がまとまり次第改めてお知らせします。